



# たてやま議会だより



●平成30年5月号 ●No.121 ●発行／館山市議会 ●〒294-8601 館山市北条1145-1 ●電話0470-22-3527  
議会メールアドレス gikai.j@city.tateyama.chiba.jp



城山公園の桜

## 平成30年3月定例市議会 館山市一般会計予算などを議決

平成30年第1回臨時市議会（2月5日開催）  
平成29年度館山市一般会計補正予算を議決

3月定例市議会は、2月23日から3月23日までの会期29日間にわたって開かれ、市長から提案された28議案と議会から提出された1議案が、原案どおり可決されました。

3月定例会において、会  
して審査を付託しました。

議初日（2月23日）は、会期を29日間と決定した後、市長から各議案について提案理由の説明が行われました。

2月28日から3月1日にかけては、9人の議員が一般質問を行い、市政の諸問題について市当局の考えをいただきました。

3月6日は、新年度予算を除く各議案について質疑を行い、所管の常任委員会に審査を付託しました。

3月8日は、新年度予算に対する質疑を行った後、予算審査特別委員会を設置

して審査を付託しました。

最終日（3月23日）は、各委員会の委員長が、委員会での議案等審査の経過及び結果を報告した後、質疑、討論、採決を行いました。続いて、追加議案の審議を行い、閉会しました。

### 主な内容

- ★議案概要と委員会審査 2～5頁
- ★一般質問 6～11頁
- ★議決結果 12頁

平成30年度一般会計・特別会計予算

会計名	本年度予算	対前年増減率
一般会計	179億5300万円	2.2%
特別会計	国民健康保険	58億5579万1千円 △ 22.9%
	後期高齢者医療	7億3455万円 1.3%
	介護保険	56億9209万2千円 △ 3.6%
	下水道事業	8億548万9千円 △ 6.2%
合計	310億4092万2千円	△ 5.0%

2月臨時会・3月定例会に提案された議案と委員会の主な審査内容を紹介します。

◆議案第1号 平成29年度館山市一般会計補正予算(第8号) Ⅱ歳入歳出それぞれ2030万円を追加し、総額184億4993万5千円としようとするもの。

主なものとしては、台風21号により被災した土木施設に係る災害復旧事業など。

◆議案第2号 議案第6号 平成30年度館山市一般会計予算及び4特別会計予算Ⅱ左表参考

予算審査特別委員会の審査(委員長 鈴木順子議員) 老人福祉センター運営事業に関して、収益はどれくらいか聞いたところ、年間に入館料、入浴料を合わせて130万円程度である、との説明がありました。

ごみ再資源化に関して、ごみの減量化について聞いたところ、ペットボトルは減ってきているが古紙類のうち段ボールと飲料用紙パックは増えている状況である、との説明がありました。

渚の駅 たてやま機能強化事業に関して、販売用物品のうち館山市独自の物を聞いたところ、さかなクンうちわ4種類である、との説明がありました。

道路新設改良事業に関して、予算を増やすことはできないか聞いたところ、予算の総枠の中で財政運営の見地から地方債の借入額、今後の償還金や基金の取り崩し額を加味して予算編成をしている、との説明がありました。

船形館山線道路整備事業に関して用地取得状況を聞いたところ、面積ベースで62・65%である、との説明がありました。

第三中学校整備事業について聞いたところ有利な財源を確保した上で建て替える方針

である、との説明がありました。

船形バイパスに関して、予算組み替えの動議が提出され、賛成少数で否決されました。

討論では、現在の4校体制を維持するのかという中学校再編の討論をしないまま30億円規模に上る三中建て替えを前提とした基本設計委託料3000万円を今年度に支出することに反対する。また、循環型社会形成推進計画策定事業、老朽化している館山市清掃センターの大規模改修を前提とした計画だが長期的な観点から建て替えとの比較を考えるため反対する、との討論がありました。

一方、一般会計予算に対して2日間にわたる本委員会での様々な質疑も勘案し、大局的に見地から総体的に思慮した上でも評価できるものであると判断する。市勢発展の願いとともに持続可能な行政運営を目指したたゆまぬ努力を続けていただくことを要望して賛成する、との討論がありました。

予算組み替え動議は否決されたが、財政面と補助金の効率の低下により4億円を超える船形バイパスの事業は難しいと考えるので、これを容認して賛成することはできない

い。この一点をもって反対する、との討論がありました。

一方、おおむね第4次総合計画に沿った予算であることを考慮して賛成させていただけに、との討論がありました。

◆議案第7号 館山市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ次期行財政改革委員会は、今後の財政運営に影響を及ぼす事項を審議する必要があることから、より市民や市議会の意見を反映させるため、定数の増員及び委員構成の改正をしようとするもの。

また、それに伴い、非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を附則により改正をしようとするもの。

総務委員会の審査(委員長 石井敏宏議員) 行財政改革委員会の定数増について聞いたところ、現委員から、広く意見を取り入れるべきとの声があり、千葉県下の他市の状況を鑑みて改正するものである、との説明がありました。

◆議案第8号 館山市職員給与条例等の一部を改正する条例の制定についてⅡ千葉県人事委員会の勧告に準じ、館山市職員の給与改定を実施しよう

とするもの。改正の内容としては、給料表について、若年層に重点をおいて、平均0.2パーセントの引上げを行うとともに、期末・勤勉手当について、民間との支給割合に見合うよう0.1月分を引き上げ、年4.4月分としようとするもの。

また、市長等特別職の期末手当について、一般職の期末・勤勉手当の支給割合が改正されることとの均衡を考慮し、改正をしようとするもの。

◆議案第9号 フレフレ・たてやま応援条例の一部を改正する条例の制定についてⅡふるさと納税による寄附金を充てる事業として、看護師等修学資金貸付に関する事業を新たに加えようとするもの。

総務委員会の審査 看護師等修学資金貸付に関する事業を加えた理由を聞いたところ、ふるさと納税制度の活用により看護師等修学資金貸付資金の原資の確保を目的としたものである、との説明がありました。

貸し付け及び返還の状況について聞いたところ、平成23年度から現在まで貸し付けを決定した件数は94件であり、貸付金額の総額は今年度末7650万円になる見込みである。返還の状況は、全額返還

の決定をした者が9名、半額返還の決定をした者が2名であり、返還金の総額は今年度末552万円となる見込みである、との説明がありました。

◆議案第10号 館山市財政調整基金条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ財政規律の一層の確保を図るため、一般会計歳入歳出の決算上生じた剰余金について、2分の1を下らない金額を翌年度に繰り越さず、財政調整基金に直接編入しようとするもの。

◆議案第11号 館山市市税条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ個人住民税の配偶者控除及び配偶者特別控除の見直しに伴い、地方税法施行令の一部を改正する政令が公布されたことから、用語の変更をしようとするもの。

◆議案第12号 館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ平成30年度からの国民健康保険の広域化に向けて、千葉県が算定した標準保険料率を参考に国民健康保険の税率等の改正をしようとするもの。

◆議案第13号 館山市畑地区に係る公共的施設の総合整備計画を変更することについてⅡ現在計画期間中である「館山市畑地区に係る公共的施設の総合整備計画」について、平成30年度事業予定の道路改良工事に係る事業費の増額に伴い、辺地対策事業債の予定額に変更が生じたため、「辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律」に基づき、総合整備計画を変更することについて議会の議決を求めようとするもの。

◆議案第14号 館山市立幼稚園預かり保育条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ平成30年度から預かり保育料の口座振替を行うに当たり、他の保育料と同様に利用月の末日を納期限とするもの。

◆議案第15号 館山市学童災害共済条例を廃止する条例の制定についてⅡ制度施行当初

◆議案第16号 館山市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ国民健康保険法等の一部が改正されたことにより、住所地特例の適用を受けた国民健康保険制度の被保険者が、75歳に到達したこと等により後期高齢者医療制度の被保険

◆議案第17号 館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ第7期介護保険事業計画に基づき、平成30年度から平成32年度までの第1号被保険者の保険料率を定めようとするもの。

◆議案第18号 館山市介護保険条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ第7期介護保険事業計画に基づき、平成30年度から平成32年度までの第1号被保険者の保険料率を定めようとするもの。

したため、土砂を安定させるため勾配を緩くする必要があり、法尻（のりじり）が道路側に1メートル後退し、道路の幅員が変更になったが、現道より拡張されており、通行上の支障はない、との説明がありました。

◆議案第19号 館山市学童災害共済条例を廃止する条例の制定についてⅡ制度施行当初

◆議案第20号 館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ第7期介護保険事業計画に基づき、平成30年度から平成32年度までの第1号被保険者の保険料率を定めようとするもの。

◆議案第21号 館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ第7期介護保険事業計画に基づき、平成30年度から平成32年度までの第1号被保険者の保険料率を定めようとするもの。

◆議案第22号 館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ第7期介護保険事業計画に基づき、平成30年度から平成32年度までの第1号被保険者の保険料率を定めようとするもの。

◆議案第23号 館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ第7期介護保険事業計画に基づき、平成30年度から平成32年度までの第1号被保険者の保険料率を定めようとするもの。

◆議案第24号 館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ第7期介護保険事業計画に基づき、平成30年度から平成32年度までの第1号被保険者の保険料率を定めようとするもの。

◆議案第25号 館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ第7期介護保険事業計画に基づき、平成30年度から平成32年度までの第1号被保険者の保険料率を定めようとするもの。

◆議案第26号 館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ第7期介護保険事業計画に基づき、平成30年度から平成32年度までの第1号被保険者の保険料率を定めようとするもの。

◆議案第27号 館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ第7期介護保険事業計画に基づき、平成30年度から平成32年度までの第1号被保険者の保険料率を定めようとするもの。

◆議案第28号 館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ第7期介護保険事業計画に基づき、平成30年度から平成32年度までの第1号被保険者の保険料率を定めようとするもの。

◆議案第29号 館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ第7期介護保険事業計画に基づき、平成30年度から平成32年度までの第1号被保険者の保険料率を定めようとするもの。

◆議案第30号 館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ第7期介護保険事業計画に基づき、平成30年度から平成32年度までの第1号被保険者の保険料率を定めようとするもの。

◆議案第31号 館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ第7期介護保険事業計画に基づき、平成30年度から平成32年度までの第1号被保険者の保険料率を定めようとするもの。

◆議案第32号 館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定についてⅡ第7期介護保険事業計画に基づき、平成30年度から平成32年度までの第1号被保険者の保険料率を定めようとするもの。

3年間の減額措置に伴い、給付を抑えるために、サービ  
ス等の使い控えや、認定の段  
階での締め付けのような状態  
が発生する懸念はないか聞い  
たところ、介護サービスの給  
付等の根底は、あくまで適正  
なケアプランを元の実施して  
いくということである。今後、  
重点的に取り組んでいく「介  
護予防」や「重度化防止」に  
つなげるために、「行政・市民・  
事業所等」多方面の連携によ  
りへの取り組みを進めていき  
たいと考えており、決してサー  
ビスの使い控えといったこと  
が起らないように心がけて  
取り組んでいきたいと考えて  
いる、との説明がありました。

◆議案第19号 館山市指定介  
護予防支援等の事業の人員及  
び運営並びに指定介護予防支  
援等に係る介護予防のための  
効果的な支援の方法に関する  
基準等を定める条例の一部を  
改正する条例の制定について

Ⅱ指定居宅サービス等の事業  
の人員、設備及び運営に関す  
る基準等の一部を改正する省  
令が公布されたことに伴い、  
所要の改正をしようとするも  
の。(議案第19号〜21号)

文教民生委員会の審査  
新たにやらなければならぬ

い事業とは何か聞いたとこ  
ろ、まず、障害福祉制度上の  
相談支援専門員との連携に努  
めること。利用者に対し、指  
定介護予防サービス計画に  
位置づけられる実施事業者  
を複数紹介すること。利用者  
の入院時には、地域包括支援  
センターの担当職員の名前や  
連絡先等を医療機関に伝える  
こと。利用者が医療サービス  
を利用する際、医師等の意見  
を元にして作成した介護予防  
サービス計画については、そ  
の計画を医師等に交付するこ  
と。実際にその医療サービス  
を受ける際に、利用者の服薬  
状況や口腔機能等の状況につ  
いて、医師等に必要な情報伝  
達を行うこと、というような  
ことが義務づけられた、との  
説明がありました。

◆議案第20号 館山市指定地  
域密着型サービスの事業の人  
員、設備及び運営に関する基  
準を定める条例の一部を改正  
する条例の制定について

◆議案第21号 館山市指定地  
域密着型介護予防サービスの事  
業の人員、設備及び運営並び  
に指定地域密着型介護予防サ  
ービスに係る介護予防の効果  
的な支援の方法に関する基準を  
定める条例の一部を改正する条  
例の制定について

文教民生委員会の審査  
新たにやらなければならぬ

文教民生委員会の審査  
条例の制定で何が变わるの  
か聞いたところ、一番大きな  
変更点としては、サービス実  
施事業者の身体的拘束の適正  
化である。今まで明確化され  
ていなかった身体的拘束につ  
いて、実施事業者は、身体的  
拘束の適正化のための委員会  
を3か月に1回以上実施する  
ことや、事業所の職員への周  
知徹底、適正化のための指針  
の整備、職員に対し、身体的  
拘束の適正化の研修を定期的  
に実施するといった規定が盛  
り込まれており、それが一番  
大きな変更点である、との説  
明がありました。

◆議案第22号 館山市指定居  
宅介護支援等の事業の人員及  
び運営に関する基準等を定め  
る条例の制定についてⅡ介護  
保険法の改正に伴い、平成30  
年4月1日から指定居宅介護  
支援事業者についての権限  
が、千葉県から館山市へ移譲  
されることになるため、指定  
居宅介護支援事業者の基準等  
を定めようとするもの。

◆議案第23号 平成29年度館  
山市一般会計補正予算(第  
9号)Ⅱ歳入歳出それぞれ  
1億5640万6千円を減額  
し、総額182億9352万  
9千円としようとするもの。

文教民生委員会の審査  
新たにやらなければならぬ

歳出の追加の主なものとし  
ては、民生費の保険基金安定  
繰入金、国庫補助金の返還金、  
子ども子育て支援国交付金の  
精算に伴う返還金、生活保護  
事業における国庫負担金の精  
算に伴う返還金、そのほか、  
やさしいまちづくり推進福祉  
基金積立金、子ども・子育て  
支援基金積立金、コミュニティ  
医療推進基金積立金、観光振  
興基金積立金、スポーツ振興  
基金積立金、フレフレ・たて  
やま応援基金積立金など。

歳出の減額の主なものとし  
ては、後期高齢者医療特別会計  
への保険基金安定繰入金、安房  
郡市広域市町村圏事務組合粗  
大ごみ処理施設運営費負担金、  
三芳水道企業団に対する高料  
金対策補助金等、県営ため池等  
整備事業大正地区負担金、道路  
新設改良事業、船形館山線道路  
整備事業、河川整備事業、景観  
計画策定業務委託料、楠見1号  
排水路整備事業、下水道事業特  
別会計繰入金、安房郡市広域市  
町村圏事務組合常備消防費負  
担金など。

これらの補正財源として財  
産収入及び寄附金を増額し、  
使用料及び手数料、国庫支出  
金、県支出金、繰入金、諸収  
入及び市債を減額。

繰越明許費として、個人番

号カード等関連事務費交付金  
事業ほか4件の追加、債務負  
担行為として、ふるさと納税  
返礼品等管理業務委託料ほか  
1件の追加、また、地方債の  
補正として、防災行政無線整  
備事業ほか7件の変更。

総務委員会の審査

債務負担行為に係るふるさ  
と納税返礼品等管理業務委託  
料について聞いたところ、来年  
度新規に委託するもので、4月  
1日から事業を行う必要があ  
るために債務負担行為を設定  
するものであり、これまで職員  
が行っていた業務の一部を業  
者に委託するものである、との  
説明がありました。

橋梁整備事業に係る富士見  
橋の工事概要について聞いた  
ところ、主桁(しゅげた)、  
橋台のコンクリートの浮きや  
腐食の断面修復及びひび割れ  
補修等を実施するものであ  
る、との説明がありました。  
景観計画策定業務委託料に  
係る減額の理由を聞いたとこ  
ろ、入札を実施した結果であ  
る、との説明がありました。

楠見1号排水路整備事業に  
係る工法の見直しについて聞  
いたところ、既存のボックスカ  
ルバートの取り壊しに時間と  
経費を要することが判明した  
ため、水の流れを整える分隔壁

流線型の水路壁を整備し改良する工法に変更し、経費を抑えながら溢水を解消することとした、との説明がありました。

◆議案第24号 平成29年度館山市国民健康保険特別会計補正予算(第3号) Ⅱ歳入歳出それぞれ11万3千円を増額し、総額74億9557万円としようとするもの。

歳出の主な内容としては、過年度支払基金交付金返還金など。

このほかに、債務負担行為として、高額療養費支給システム保守委託ほか1件の追加。

◆議案第25号 平成29年度館山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号) Ⅱ歳入歳出それぞれ919万8千円を増額し、総額7億1709万1千円としようとするもの。

歳出の主なものとしては、保険基盤安定繰入金の額が確定したことによる後期高齢者医療広域連合納付金の減など。

◆議案第26号 平成29年度館山市下水道事業特別会計補正予算(第3号) Ⅱ歳入歳出それぞれ2724万3千円を増額し、総額8億3568万5千円としようとするもの。

歳出の主なものとしては、消費税及び地方消費税、鏡ヶ浦クリーンセンターの長寿命

化対策工事委託料、公共下水道第2期整備事業など。

繰越明許費として、公共下水道整備事業の設定、また、地方債の補正として、下水道事業ほか1件の変更。

建設経済委員会の審査(委員長 室 厚美議員)

公営企業会計移行支援業務委託料に係る減額の理由について聞いたところ、指名競争入札を実施した結果である、との説明がありました。

機械等修繕料に係る減額について聞いたところ、制限付一般競争入札を実施した結果である、との説明がありました。

汚泥運搬・処分委託料に係る減額の理由である汚泥排出の減について、減つた量と原因を聞いたところ、民間企業より、脱水機の実証実験のため、クリーンセンターの汚泥を使用したいとの申し入れがあり、約90トンを提供したことなどによる、との説明がありました。

維持管理費で減額する主な事業を聞いたところ、修繕料、汚泥運搬・処分委託料、ストックマネジメント計画作成業務委託料及び長寿命化対策工事委託料である、との説明がありました。

長寿命化対策工事について、

て、国の社会資本整備総合交付金がなければ実施しないのか聞いたところ、設備等の健全度により、更新優先順位を決めて、今後も交付金の内示額に応じて実施していきたい、との説明がありました。

公共下水道第2期整備事業の進捗状況と今後の見通しについて聞いたところ、平成32年度に完了の予定である、との説明がありました。

起債管理業務の減額について聞いたところ、下水道事業債は、通常、5年据え置きで借り入れを行っているので、元金が今の時点で減額になることはない、利子相当分の減額である、との説明がありました。

【追加議案】

◆議案第27号 平成29年度館山市一般会計補正予算(第10号) Ⅱ歳入歳出それぞれ7019万4千円を追加し、総額183億6372万3千円としようとするもの。

主なものとしては、ふるさと納税事業、自立支援給付事業、非構造部材耐震対策事業、フレフレ・たてやま応援基金積立金など。

繰越明許費として、国の第一次補正予算に伴い実施することにより、年度内の完了が

見込めない非構造部材耐震対策事業を追加など。

◆議案第28号 人権擁護委員候補者の推薦についてⅡ人権擁護委員が任期満了となるので、引き続き、齋藤由美さんを推薦しようとするもの。

◆議案第29号 人権擁護委員候補者の推薦についてⅡ人権擁護委員に新たに、館石悦子さんを推薦しようとするもの。

【議会提出議案】

◆発議案第1号 地域高規格道路「館山・鴨川道路」の早期実現を求める意見書

意見書提出

1件の意見書を可決し、関係機関に提出しました。

地域高規格道路「館山・鴨川道路」の早期実現を求める意見書

今後、発生が懸念されている巨大地震やそれに伴う津波対策をはじめとする災害に強いまちづくりを推進し、また、本

地域が抱える少子高齢化、人口減少化、地域経済の衰退化などの課題を解決するために必要

不可欠な、他地域との連携や交流を支える、国道127号富津館山道路から外房地域につな

がる地域高規格道路である「館山・鴨川道路」の早期実現を、国、県に要望するもの。

請願採択

地域公共交通網形成計画策定を求める請願  
前定例会で継続審査となっていました、全会一致で採択されました。

表紙の写真について(城山公園の桜)

公園内には、椿梅・桜・つつじ等の花木が多数植えられており、季節に合わせて開花します。2月から4月にかけては、

河津桜、寒緋桜、ソメイヨシノ、八重桜などの桜が咲き誇り、花見客等で賑わいます。

本市への視察訪問

○3月28日  
埼玉県深谷市議会

NPOと連携した移住定住促進の取り組みについて

○4月26日  
大阪府松原市議会  
自由討議について

# 一般質問

## 一般質問通告要旨

市政に関する一般質問は、2月28日と3月1日の2日間にわたり、次の9名の議員が行いました。議員別の質問要旨は、次のとおりです。  
次ページ以降が主な質問と答弁です。(項目を太字表示)

(質問順)

2月28日 (水)	<p><b>瀬 能 孝 夫</b></p> <p>①館山港多目的観光棧橋の今後の活用について(「館山港港湾振興ビジョン」の来年度の実施見通し、<b>来年度の国内海外クルーズ船の寄港目標及び誘致促進に向けた取り組み</b>、寄港に伴う受け入れ態勢及び観光施設等の充実に関する取り組み) ②赤山地下壕跡駐車場における公衆トイレ ③骨髄移植におけるドナー登録者促進(全国比に対する千葉県のドナー登録者数の現状、<b>ドナー登録者促進に向けた助成制度導入の必要性</b>)</p>
	<p><b>森 正 一</b></p> <p>①子育て支援の充実(<b>小児科医療体制の充実・現状と問題点</b>、幼稚園及び小中学校におけるインフルエンザの罹患状況、<b>インフルエンザ予防接種の助成</b>) ②第三中学校の耐震化(<b>校舎の耐震化対策</b>、有利な財源の確保、耐震化のスケジュール、建て替え後の校舎の施設規模、<b>震度6強以上の地震発生時の被害想定、生徒や職員の避難方法</b>) ③スポーツ観光の推進・社会体育施設の整備(スポーツ観光を目的とした来訪者や経済効果、2020年東京オリ・パラ事前キャンプ以外でのスポーツを目的とした外国人観光客の定常的な誘致の取り組み、遊休市有地の社会体育施設としての利活用の検討状況)</p>
	<p><b>本 多 成 年</b></p> <p>①商工会議所、館山市観光協会、館山市商店会連合会からの統一要望(館山湾を活用した海辺のまちづくりの実現、館山航空基地の整備拡充、<b>経済振興策の推進</b>、<b>街中の賑わいづくりの創出</b>、産業振興条例の制定) ②専門的に経済について任せられる職員の育成 ③<b>台湾との交流の成果</b> ④海から館山に訪れるお客様を増やしていく施策 ⑤日本遺産登録</p>
	<p><b>望 月 昇</b></p> <p>①<b>館山若潮マラソン大会</b> ②<b>台湾をターゲットとしたインバウンドの取り組み</b>(今までの経緯、今回のトップセールスの目的と成果、<b>今後の取り組み</b>) ③<b>館山夕日棧橋の今後の利活用</b>(<b>今季の高速ジェット船季節運航の状況と今後の取り組み</b>、クルーズ船の寄港状況と寄港回数を増やすための取り組み)</p>
	<p><b>龍 崎 滋</b></p> <p>①<b>高齢者の買い物弱者における現状の把握と対策</b> ②平成30年度の組織改編(観光みなと課と雇用商工課の改編の理由と今後の行政運営、農水産課内の「食のまちづくり推進室」の設置) ③館山市の体験型観光と教育旅行(現在活動している団体の実績と現状、<b>観光振興やまちづくりの観点からの課題及び今後の可能性</b>)</p>
3月1日 (木)	<p><b>鈴 木 順 子</b></p> <p>①館山市の健康、福祉の取り組み(施設及び会場での受診状況、健診の方法における考え方、緊急時医療情報の取り組み、<b>あんしん袋の活用状況</b>、館山市高齢者保健福祉計画に取り入れる必要のある課題、第7期介護保険事業計画における介護保険料の見直し、今後の料金改定、<b>館山市社会福祉協議会の支部活動</b>、<b>高齢者・障がい者などの交通弱者に対する取り組み</b>)</p>
	<p><b>石 井 敏 宏</b></p> <p>①学校教育(公立中学における制服、学校行事の整理・縮小、運動会の準備、授業の準備の優先、安房地域外への進学) ②PTA(学校からPTAへの個人情報提供、PTAの入会手続き) ③ごみ処理(ガレキの処理等、<b>焼却ごみ削減の手法や取り組み</b>、<b>ごみ処理施設の建て替え費用の試算</b>) ④館山市における職員の懲戒処分の基準</p>
	<p><b>室 厚 美</b></p> <p>①<b>生活支援コーディネーターの役割</b> ②市職員の人材育成の方針 ③<b>観光立市たてやま行動計画の現時点での評価及び総括</b> ④市民や来訪者の移動手段の確保</p>
	<p><b>内 藤 欽 次</b></p> <p>①<b>国民健康保険税のさらなる減額</b>(加入保険別の所得に占める保険料の割合、広域化に伴う国民健康保険財政調整基金の運用) ②ごみ処理問題(<b>ごみ処理広域化事業からの離脱による諸問題</b>、3R(スリーアール)の推進) ③災害時を考慮した生活道路の点検・整備(<b>狭隘(きょうあい)道路</b>、<b>危険箇所の実態点検</b>、市道、私道を区別しない公平な道路補修) ④<b>高齢者の足の確保</b>(<b>地域公共交通のビジョン</b>、<b>地域公共交通への国庫補助</b>)</p>

※ 紙面の都合上、通告質問の要旨を掲載しています。詳細については、5月中旬ごろ図書館に配置予定の会議録、または館山市ホームページの会議録検索システムでご覧ください。

### 館山港多目的観光棧橋



瀬能 孝夫 議員

2期目・60歳・佐野

公明党

文教民生委員会委員

**問** 館山港多目的観光棧橋の今後の活用について、国内・海外クルーズ船の寄港目標及び誘致促進に向けた取り組み等を問う。

**答** 平成30年度、国内クルーズ船の寄港予定は8月と9月の「につぼん丸」による「館山火花クルーズ」と「秋の味覚クルーズ」の2回ですが、波静かな地の利を生かし、他の寄港地の気象条件不良による臨時寄港の誘致や、国内の各客船会社にも引き続きポートセールスやトップセールスを行っていきます。

外航クルーズ船については、現時点での寄港予定はありませんが、今後寄港数を増やしていくために、本年1月には外国船社との商談会に参加したところであり、平成30年度も積極的に参加し、館山の知名度の向上を図り、2020年を目標に、外航クルーズ船を誘致したいと考えています。

**解説** 現在の観光棧橋の活用実態で

は、クルーズ船の寄港実績が年に数回と少なく、観光収入にも結びついていない現状にあります。しかし、これから外国クルーズ船の誘致を積極的に進め寄港頻度が増えていけば、南房総地域における大きな経済効果が期待できます。そのため本市も高い目標を掲げ、誘致に取り組んでいく旨の姿勢を示されました。

### 骨髄移植のドナー登録

**問** 骨髄移植におけるドナー登録者促進に向けた取り組みについて問う。

**答** 多くの方に、ドナー登録への理解を得られるよう、登録方法等について周知・啓発活動に取り組みとともに、登録に向けた環境づくりや献血会場での献血併行型骨髄バンク登録会の実施など、積極的な登録機会の創出と助成制度のニーズの把握に努めていきます。

**解説** 重い血液の病気で苦しんでいる人は毎年一人人ほどいますが、マッチングの困難さから骨髄移植を希望する人の約6割しか受けられていません。従って、登録者数を増やしていくことが最重要になります。骨髄提供には負担もあるため、埼玉県では本人及び、その雇用を担う事業所にも全市町村が助成制度を導入し、登録者数を増やした事例もあります。全国の各自治体でも、登録者の促進への取り組みを期待します。

### 子育て支援の充実



森 正一 議員

2期目・50歳・八幡

たてやま21・緑風会

文教民生委員会委員長

**問** 小児救急医療体制の充実について

**答** 安房地域には、小児救急医療拠点病院である亀田総合病院があり、重篤な小児患者を受け入れている。また、夜間休日の相談先として、県の「#8000」事業、日本小児科学会の「こどもの救急」の周知に努め、保護者の不安解消に努めている。また、4月から小児医療体制が強化されることや、引き続き、小児医療体制の充実に向けた努力をしていくと、医療関係者から伺っている。

**問** 子どものインフルエンザ予防接種費用の助成について

**答** 県内では、7市町村で助成をしているが、市として具体的な助成は考えていない。

**解説** 4月から安房地域医療センターに常勤の小児科医が配置されますが、夜間休日の体制はまだ不十分です。地域と医療機関、行政や議会が一体となり、医療現場の現状を知

り、どうしたら良くできるのかを学べる場を企画し、小児医療の充実を目指していきたい。  
また、インフルエンザ予防接種の有無と罹(り)患状況を調査したところ、データ数は150件程度ですが、予防接種をしない方が2倍罹患しており、予防接種の効果が見られました。今後、予防接種の効果を検査し、助成するかどうかの判断材料にしてもらいたい。

### 第三中学校の耐震化

**問** 平成30年度当初予算に基本設計業務委託が計上されたが、建て替えに確定したのか。

**答** 有利な財源を確保した上で、校舎を建て替えることに取り組んでいく。

**問** 震度6強以上の大規模地震発生時における最善の避難方法の検討は行っているか。

**答** 揺れている間は机の下等にもぐって自分の身を守り、揺れが収まった後、速やかに安全な場所に避難する。現状、これが最善の避難方法と考え、避難訓練を行っている。

**解説** 平成30年度予算に建て替えの基本設計が計上されましたが、財源確保の結果により変更の可能性があり、建て替えの方向で進めるよう要望するとともに、最善の避難方法の調査・研究を要望しました。



### 経済振興策

**問** 経済三団体からの経済振興策の推進についての要望に対する市の施策について。

**答** ハード事業としては、渚の駅たてやまの修繕工事をしており、平成30年度は、収蔵庫棟の改修と壁面にさかなクンのイラストを貼り差別化を図ります。ソフト事業では、潜らずに海中散策が可能なバーチャル体験ができるようにしたり、さかなクングッズ販売の充実を図る、レンタルサイクル「なぎさチャリ」の利用促進、展望デッキでのイベントの開催等により、集客力を高めます。

また、渚の駅と城山を結ぶウォーキング・サイクリングコースの設定、案内看板の設置やささまざまな媒体を使い情報発信を図り、滞在時間の延長に努めていきます。

街中の賑わいづくりの創出については、要望のあった商店街の街路灯のLED化は、ほぼ完了し、今後は、電気料や維持管理費等の負担が軽減される

ものと見込んでいます。また、「まちなか交流館」を活用し、活性化に向けた気運の醸成を図り、商店街の主體的な取り組みに対して一体となって支援してまいります。

### 今後の台湾との交流

**問** 2回訪れた台湾についてはどのような成果を期待しているか。

**答** 今回のトップセールスは、観光協会長、インバウンド協議会長らと、教育旅行の誘致と経済交流の構築を目的に台湾高雄市、台南市、台北市を訪問し、積極的な意見交換をしてきました。高雄市には240校の高校・中学があり、すでに3件の問合せを受けています。また、経済交流の構築については、企業経営者で構成する団体が館山でゴルフ交流を行うことになりました。これが館山市と台湾の企業経営者同士等が相互の事業連携を行うきっかけとなり、将来の経済交流につながることを期待しています。

### 解説

経済三団体の年頭の挨拶で、経済施策に対する要望が出されました。それを受けての質問ではありましたが、国、県の交付金を活用した事業もきっかけとして必要ではありませんが、他の成功例をみますと民間事業者の皆さんの自主的な、そして積極的な取り組みが成功の鍵となっているようです。



### 館山若潮マラソン

**問** 「館山若潮マラソン大会」について、その大会の総括を問う。

**答** 昨今、地域振興を目的としたマラソン大会が増加しています。しかし、募集定員に達しない大会や、廃止に追い込まれる大会も増えています。その中で、本大会はより魅力ある大会の運営の方法に心掛けており、参加申し込みは、7年連続で1万人を超え、今年も、1万1335人のランナーにエントリーしていただきました。ランナーや市民の皆様、また、多数のスポーツボランティアの方々との熱意と元気、そして献身的な支援のおかげで大会は、成功裡に終了したと感謝しております。

今回、参加料を5千円から6千円に変更しましたが、アクアラインマラソンのフルマラソンの参加料金は1万2500円と聞いています。参加者からはこの変更について苦情はありませんでした。逆に、「良心的な参加料だ」などのご意見をいただいております。特に今回はランナーの皆様の声に耳を傾け、たくさん工夫、改善をいたしました。次回以降

降もより魅力ある大会を目指していきます。

### インバウンド（訪日外国人旅行）の取り組み

**問** 「台湾をターゲットとしたインバウンド」の取り組みについて問う。

**答** 将来の外国人観光客の増加に伴う経済の活性化を図るため、館山インバウンド協議会と連携して台湾からの誘客拡大に取り組んでいます。特に教育旅行、民間旅行会社のツアー誘致や経済交流の実現につなげたいと考えています。

### 「館山夕日棧橋」の活用（館山港多目的観光棧橋）

**問** 「館山夕日棧橋」の活用について問う。

**答** 高速ジェット船季節運航で直接的な経済効果を高めるために、館山から大島に行っていたただけでなく、竹芝棧橋から乗船したお客様に市内を巡ってもらうことが必要であると考えています。また、竹芝発着で4日間有効の往復切符を5千円で販売しています。東京と館山を結ぶ高速バスと同額で、しかも、アクアライン等の渋滞知らずの75分と短時間であるメリットがあります。また、今後、国内に3隻あるクルーズ船の寄港誘致を積極的に行っています。それと同時に接岸可能な中型でプレミアムクラスの外航クルーズ船の誘致も検討していきます。



### 買い物弱者対策

**問** 市内の小売店の閉店による、高齢者の買い物弱者の現状と対策を問う。

**答** 高齢者の相談窓口の地域包括支援センターでの相談や、高齢者の買い物支援の検討を始めている地域があります。今後は交通弱者対策等地域づくり推進事業により地域の高齢者を含む交通弱者の買い物や通院等の移動手段を検討していきます。また、地域公共交通網形成計画の作成の中で、総合的な観点で市民の移動手段の確保対策に取り組みます。



**解説** 高齢者が買い物に困っている。どうにかならないのかという声が届きます。この問題は買い物に限らず高齢者の心身の健康維持に関係することです。対応策は交通手段の確保や地域の助け合い、または物品購入にお

る流通の利便性の向上など、広範な取り組みが必要です。南房総市の買い物お助け帳による宅配サービスなど事例を示し、市の対応策を求めました。

### 館山市の体験型観光と教育旅行の取り組み

**問** 観光振興やまちづくりの観点から課題や可能性を問う。

**答** 体験観光は、人・風土のふれあいを通じ観光を推進していく上で重要な施策の一つです。個人旅行者向けと教育旅行など団体旅行者向けのプログラムの提供で、体験事業者が連携を強化し、一体となつての取り組みが必要です。館山市も人材育成のサポートや観光振興支援事業補助金の活用など、側面からの支援を行い、体験観光事業の発展につなげていきます。

**解説** 建設経済委員会の行政視察で訪れた長野県飯田市の体験観光の事例と、過日の観光に関する市民との意見交換会での市内事業者の声を受けての質問です。館山市の観光の魅力は、温暖な気候による周年観光と海の活用や歴史文化の多様性に満ちていることですが、体験観光事業としての一歩化や、体験メニューの豊富さに欠けることなどを課題として、今後は行政もまじえて効率的かつ発展的な事業に向けての話し合いの場を設けることを要望しました。



### 健康・福祉の取り組み

**問** 健診のあり方について、施設及び会場での受診状況はどうか。健診は現行の方法でよいか。

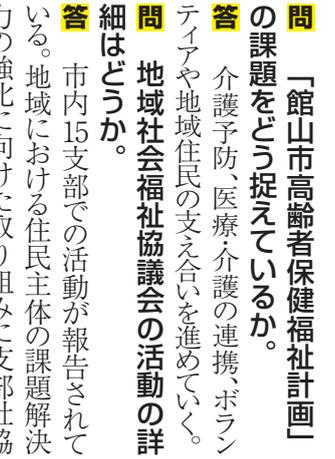
**答** 現在、市内三会場での実施による「総合健診」、市内22の医療機関での「施設健診」、治療中の医療機関からの連携によるものの三つの方法で行い、受診率は増加傾向だが、現行の健診体制に満足することなく、充実を図っていく。

**問** 緊急時医療情報の取り組みをどう考えているか。

**答** 市は、主にお薬手帳の活用を進め、地域づくりにより、緊急連絡先などを記載できるチラシなどを配布し、周知していく。

**問** 「あんしん袋」はどう活用されているか。

**答** 一人暮らしの高齢者などのために作成し、配布した「緊急時持ち出し袋」は、病気や連絡先などを記入したもので、どう使われているのか検証していない。



**問** 「館山市高齢者保健福祉計画」の課題をどう捉えているか。

**答** 介護予防、医療・介護の連携、ボランティアや地域住民の支え合いを進めていく。

**問** 地域社会福祉協議会の活動の詳細はどうか。

**答** 市内15支部での活動が報告されている。地域における住民主体の課題解決力の強化に向けた取り組みに支部協力が積極的に関わっていく。

**問** 高齢者や障がい者など、交通弱者の取り組みについて、市民からどう意見を吸い上げ生かしていくのか。

**答** 「交通弱者対策等地域づくり推進事業」において、市民全体を対象に、フォーラムを開催し、地域ごとに交通弱者対策に必要なことなどの意見収集をし、課題に取り組み。

**解説** 市民が健康でいきいきと暮らしている街づくりが言われているが、健診項目や会場が適正か、などを検証すべきです。一人暮らしの高齢者や障害者などの緊急時医療情報の取り組みは、「お薬手帳」や「あんしん袋」など散漫になっていないか。この際あるものがどう使われているか検証する必要があることを要望しました。



### ごみ処理

**問** 焼却ごみの削減についてですが、千葉市に視察に行つて聞いてきたところ、意識啓発とあわせて、古紙・布類の収集回数を月2回から週1回に増やすという独特の取り組みをして、古紙・布類の回収量を増やし、ごみの減量化につなげていました。館山市においては、焼却ごみの削減についてどのような手法を考えているのでしょうか。

**答** まずは現状実施している10種類の分別の徹底を図ることが、最も有効な方法であると考えています。そこで、古紙類は可燃ごみに占める割合が高く、再生可能な資源となるばかりではなく、売り払いできる貴重な財源となることから、平成29年度は古紙類の分別の徹底について広報誌などで周知に努めています。

**問** ごみ処理施設ですが、私は大規模改修よりも新設の方が、建設費用も運営費用も安くあがる可能性が高いと思います。さて、公共施設等総合管理計画では「大規模改修を行う

際には、建て替えとの費用比較の検討を行い」とありますが、建て替えの費用は試算されているのでしょうか。

**答** 安房郡市広域市町村圏事務組合によるごみ処理広域化事業からの離脱の経緯から、館山市としては建て替え費用の試算はしていません。

**問** 経緯はともかく離脱は済んでいますし、これは費用対効果の話なので、試算をして安く効率的な方を選ぶのが当然ではないでしょうか。

**答** 離脱の経緯は、広域負担金と大規模改修費用を両方払えないということだったので、離脱したからと言って、新しい施設を作るという考えはございません。ただ、現在は2020年の東京オリンピックが控えているせいかもしれません、新設費用が高騰しているという話もあります。



館山市清掃センター

### 観光立市たてやま行動計画



**問** 平成18年に策定された「観光立市たてやま行動計画」について、現時点での評価・総括を問う。

**答** 本行動計画において、72の事業を設定し、関係者がそれぞれの役割を分担しながら、自覚と責任を持って事業を展開してきたところです。現時点での評価としては、本行動計画が策定されたことにより、事業の実施主体が明確化され、具体的に行動を起こすきっかけとなり、事業の多くが実現していることから、一定の成果があったものと考えます。

**解説** 建設経済委員会では、民間の方々との観光に関する意見交換を行った際に、10年前にせつかく作った観光行動計画が活かされず残念だとの声がありました。事業の継続性と専門の職員を育てること、また観光に関し広く情報共有・意見交換する場づくりを行うよう、要望しました。

### 生活支援コーディネーター

**問** 生活支援コーディネーターの役割について問う。

**答** 生活支援コーディネーターは関係機関や専門職の協議の場となる協議体と連携して、資源開発やネットワーク機能を果たしていくものと考えています。育成方針については、協議体とのチームワークを基本に、一緒に考え、行動するということに重きを置きたいと考えています。

**解説** 約3年前から市の非常勤職員として配置された2名の生活支援コーディネーターが地域密着で活動され、30名の研修修了者もコーディネーターになるべく意欲的に活動してきました。平成30年度から突然、体制を変更するとの話が聞こえてきて、市民の間に不安が広がっていました。これまで活動してきたことを無駄にせず継続性を保つこと、方針転換する前に現場の声をよく聞いてから決定すること、市民への広報ももつときめ細かく行うことを要望しました。他市と異なる館山市の特徴として、地域コミュニティがしっかりとれていることが挙げられ、これを活かしつつ、社会福祉協議会も一緒に生活支援の体制づくりを行うことも求めました。



### 国民健康保険税

**問** 国民健康保険税をさらに減額してはどうか。

**答** 加入保険別の所得に占める保険料の割合は、市町村国保で9.9%、協会けんぽで7.5%、組合健保で5.7%、共济組合で6.0%です。平成29年度は、市民の皆様の健康意識の高まりによる医療費の減少、職員の努力による収納率の向上などにより、国民健康保険の税率を引き下げることができました。現在も活用している国民健康保険財政調整基金を長期的に活用することにより、今後も、負担軽減に努めます。

### ごみ処理

**問** ごみ処理広域化事業を離脱したことに伴う諸問題は、解決しているのか。また、ごみの減量化対策はどうか。

**答** 2市1町との協議を経て合意に至ったものであり、問題は生じていません。

ごみの減量化については、宴会時の

開始から30分と終了前15分は、自席で料理を味わうことで食べ残しを抑制する30・15(さんまるいちご)運動。古紙類の分別の徹底の推進など、「混ぜればごみ、分ければ資源」を合言葉に減量化を推進します。

### 生活道路の点検・整備

**問** 災害時を考慮した生活道路の点検、整備を要望する。

**答** 館山市が管理している道路の危険箇所は、緊急性の高いものは速やかに補修の対応をしています。また、緊急車両の通行について、安房郡市消防本部では、市内の狭い道路を把握しており、現況に応じて対応しているとのこと。

### 高齢者の足の確保

**問** 高齢者の足の確保について、地域公共交通の全体的なビジョンの具体策は何か。

**答** 「地域公共交通網形成計画」が、それに相当するものです。総合的な観点で公共交通ネットワークの形成を検討し、使いやすく、乗りたくなくなるような事業を盛り込みます。利用者のニーズ、課題を洗い出し、将来にわたって利用される持続性のあるものとして、交通事業者、市民、行政、関連団体などとともに考えながら具体策を打ち出していきます。

### 市議会を傍聴しませんか!

傍聴の手続きは、希望する当日に議会事務局(市役所2階前)で用紙に住所、氏名等を記載するだけです。

また、本会議の生中継(当日)、録画配信(会議当日から30日間)を行っていますので、ご利用ください。(館山市のホームページでご覧になれます)

### 会議録の検索・閲覧

3月定例会及び委員会の会議録は、5月中旬にホームページから検索・閲覧ができます。

また、従来どおりの会議録も、図書館で閲覧ができます。

「たてやま議会だより」は、平成20年5月号以降の分については、ホームページで閲覧ができます。

### 編集後記

年度末に開催される3月議会での重要な議案は、次年度の予算審査です。市の広報でも再三にわたり、財政の危機的な状況が示された中、市当局がどのような予算案を組み立てたのかを問うこの審査は、市民の代表である議会として、大変に大きな責任を伴う作業と言えます。

賛成、反対の二者択一的な採択により決定をされるも、各施策に対する議

員の見解には差が生じます。このことは、その後の定例会における行政一般質問に舞台を移し、事業実績や効果を検証する作業につながるべきです。

近年、議会改革への機運の盛り上がるなか、館山市議会においても各常任委員会による調査・研究や、視察報告が行われていることは、議会の監視機能と政策立案機能の役割を果たそうとするものです。今後も館山市議会の取り組みに注視ください。

### 議会報編集委員会

◎委員長 ○副委員長  
◎龍崎 滋 ○森 正一  
石井敏宏 室 厚美

議会や議会だよりに関するご意見、ご質問等は議会事務局まで電話またはメール(番号及びアドレスは表紙参照)でご連絡ください。

### 次の定例会の予定

- 開会日 6月8日(金)午前10時から
- 一般質問 6月13日(水)、6月14日(木) 各日午前10時から 予備日 6月15日(金)午後1時から
- 請願・陳情提出締切 5月29日(火)正午まで

## 平成30年第1回臨時会提出議案議決結果

議案番号	件名	議決結果
議案第1号	平成29年度館山市一般会計補正予算(第8号)	原案可決 全会一致

## 平成30年3月定例会提出議案等議決結果

議案番号	件名	議決結果
議案第2号	平成30年度館山市一般会計予算	原案可決 賛成多数
議案第3号	平成30年度館山市国民健康保険特別会計予算	原案可決 全会一致
議案第4号	平成30年度館山市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決 全会一致
議案第5号	平成30年度館山市介護保険特別会計予算	原案可決 全会一致
議案第6号	平成30年度館山市下水道事業特別会計予算	原案可決 全会一致
議案第7号	館山市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第8号	館山市職員給与条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第9号	フレフレ・たてやま応援条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第10号	館山市財政調整基金条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第11号	館山市市税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第12号	館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第13号	館山市畑地区に係る公共的施設の総合整備計画を変更することについて	原案可決 全会一致
議案第14号	館山市立幼稚園預かり保育条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第15号	館山市学童災害共済条例を廃止する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第16号	館山市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第17号	館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第18号	館山市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第19号	館山市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第20号	館山市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第21号	館山市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第22号	館山市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第23号	平成29年度館山市一般会計補正予算(第9号)	原案可決 全会一致
議案第24号	平成29年度館山市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決 全会一致
議案第25号	平成29年度館山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	原案可決 全会一致
議案第26号	平成29年度館山市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決 全会一致
議案第27号	平成29年度館山市一般会計補正予算(第10号)	原案可決 全会一致
議案第28号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案可決 全会一致
議案第29号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案可決 全会一致
発議案第1号	地域高規格道路「館山・鴨川道路」の早期実現を求める意見書について	原案可決 全会一致
請願第11号	地域公共交通網形成計画策定を求める請願	採 択 全会一致

付託委員会 (  総務  文教民生  建設経済  予算審査特別  付託なし )

## 議案ごとの賛否 (賛否が分かれたもののみ掲載)

(議席順)

議案番号	議員名	榎本祐三	室厚美	石井敏宏	森正一	瀬能孝夫	望月昇	石井敬之	太田浩	龍崎滋	今井義明	石井信重	本多成年	鈴木正一	内藤欽次	福岡信治	吉田惠年	本橋亮一	鈴木順子
議案第2号	議長	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○